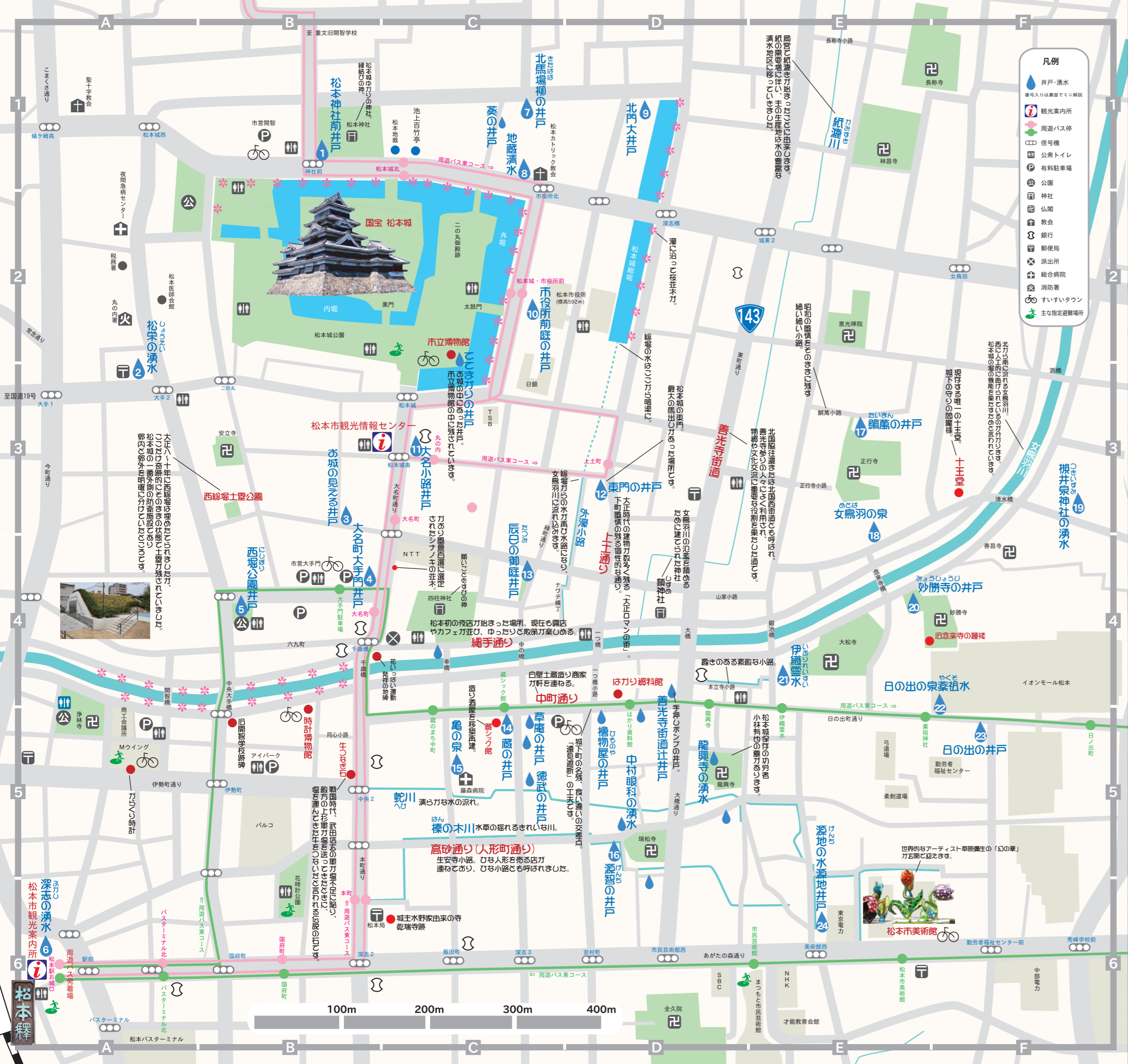


何気なく暮らしに寄り添うように名水の湧きし町

平成の名水百選

古来から滾々と湧き出で、城下での暮らしを潤し、生活を支えてきた湧水たち。松本は今なお水のまち。

信州 松本城下町湧水群



松本観光コンベンション協会

390-0874 松本大手 3-8-13 松本市役所大手事務所 1F
TEL.0263-34-3295 FAX.0263-39-7320 http://www.matsumoto-tca.or.jp

発行/松本市・松本観光コンベンション協会 2017.8-40.000

7 きたばばやなぎ
北馬場柳の井戸 地図グリッド C-1

松本城の総堀が明治維新後に埋め立てられることになり、その埋立地の中で水が湧き出していたため造られた井戸です。江戸時代の城下町絵図にはほぼ同じ位置に井戸の印がつけられています。

8 じぞうしみず
地蔵清水 地図グリッド C-1

総堀内の武家地整備の際、井戸を掘ると湧き水と共に地蔵も一緒に湧き出してきました。以来、御地蔵様が出した霊験あらたかな清水にちなんでこの辺りを「地蔵清水」と呼ぶようになりました。

9 きたもん
北門大井戸 地図グリッド D-1

旧大柳町の北端の総堀を埋め立てる際、掘られました。北門や馬出しがあった所で、現在の地形からも「馬出し」の堀の規模を実感できます。この辺りは湧水の多い地で「柳町」と呼ばれていました。

10 だいみょうこうじ
市役所前庭の井戸 地図グリッド C-2

市役所前庭の改修に合わせて整備されました。手押しポンプが郷愁を誘います。松本市のマスコットキャラクター妖精の「アルプちゃん」の石像も横に設置されていて、憩いの場にもなっています。

11 だいみょうこうじ
大名小路の井戸 地図グリッド C-3

大名町通りに面し、観光情報センターの前にあります。一見五角形のように見える水場で、豊かな水量で湧き出しています。ベンチもあり、街歩きの途中、一息つける場ともなっています。

12 ひがしもん
東門の井戸 地図グリッド D-3

江戸時代、松本城最大の馬出しだった東門のあった場所です。城内に町民・農民が入る際はここから入りました。「上土(あげつち)」と呼ばれる地で東門付近は「下馬出し」の町名が残っています。

13 たつみ
辰巳の御庭井戸 地図グリッド C-4

江戸時代に松本城の辰巳門と城主の辰巳御殿があり、その偉容を誇っていた所です。公園の周りにはレトロな建物が並びます。ナワテ横丁など、小路へ入れば懐かしも新しい発見が待っています。

14 くら
蔵の井戸 地図グリッド C-5

昔懐かしい「手漕ぎ式」のポンプ井戸です。地下25mまで掘り下げ汲み上げています。「蔵シック館」は、横の通り宮村町にあった「大禮酒造」の母屋、蔵、離れの3棟を移築復元した土蔵造りです。

15 かめ
亀の泉 地図グリッド C-5

藤森病院の改築にあたり深井戸を掘り、専用水道として病院で使用されています。開院120周年を記念し、藤森亀太郎初代院長の名から一字をいただき「亀の泉」と命名されたものです。

16 げんち
源智の井戸 地図グリッド D-5

「善光寺道名所図会」に「当国第一の名水」と称賛されている井戸。町の酒造業者はことごとくこの水を使い、歴代領主は制札を立てこの水を保護してきました。今も水を汲む人が絶えません。

1 しょうえい
松本神社前井戸 地図グリッド B-1

松本神社は、寛永3年(1636)に松本城内で鳴谷大神社として祀られたのが始まりです。享保11年(1726)に現在の地に移りました。地元では五社と呼ばれ、縁結びの神として信仰されています。

2 しょうえい
松栄の湧水 地図グリッド A-3

市民の水汲み場として活用され、街路樹への灌水や打ち水等にも利用されています。昔から自噴している井戸で、ポケットパーク的に整備されています。鉄分が多く含まれているため飲用不可です。

3 だいみょうこうじ
お城の見える井戸 地図グリッド B-3

一步入った小路、読売新聞松本支局の角のポンプ式井戸。近くに銭湯「塩井乃湯」があります。水量豊富でしょっぱかったとは地元の方の思い出。この通りからの松本城はなぜか新鮮に見えます。

4 だいみょうこうじ
大名町大手門井戸 地図グリッド B-4

松本城の表門があった場所。千歳橋(旧大手橋)の屈曲は、ここに大手門枳形があった名残です。この橋を渡り大名町側に、庶民が自由に通行できるようになったのは明治3年7月のことでした。

5 にしほりこうえん
西堀公園井戸 地図グリッド B-4

西堀は、城の西外堀が明治時代に埋立てられ、その堀に沿って数本の枝道を持つ、南北500m余の長い町です。北に200m行くと西堀堀の土塁が今も残る場所があり、土塁公園として保存されています。

6 ふかし
深志の湧水 地図グリッド A-6

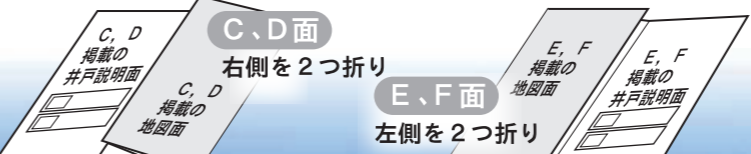
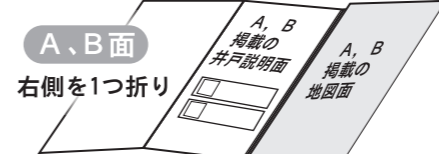
松本駅前城口の広場改修に合わせて掘られた井戸です。駅前通りの先に見える山が美ヶ原高原。美ヶ原西麓の扇状地・松本は豊富な伏流水が湧き出す水の町。まずはこの井戸から味比べのスタートを。

源智の井戸

「善光寺道名所図会」に「当国第一の名水」と称賛されている井戸。町の酒造業者はことごとくこの水を使い、歴代領主は制札を立てこの水を保護してきました。今も水を汲む人が絶えません。

幕永二年(一八四九)に刊行された「善光寺道名所図会」に掲載され、「井筒巨八尺高九寸清泉湧出して當国第一の名水」と記され、歴代藩主から保護されてきた「源智井戸の図」。

地図と解説を対比してご覧ください。



松本は、女鳥羽川と薄川の複合扇状地によって、豊富な地下水が湧出する湧水地帯です。市街地中心部には、今なお多くの自噴井戸や湧水が点在し、市民の手により手厚く保全されています。城下の雰囲気は今も残す町を歩きながらの、潤いと安らぎを与えてくれる名水巡りを……。

めとばがわ 堀の役目を果たした 女鳥羽川

女鳥羽川は、内堀、外堀、総堀の三重の堀が巡る松本城の守りをさらに堅くするため、その流れを変え堀としての機能を持たせたとされています。本来、女鳥羽川はお城の北西を流れていましたが、東に移し替え、城の南側を流れるようにしたのです。流路の変更の時期については、旧松本市史では、石川氏の時代としていますが、その後の研究で、現在は武田氏の時代に工事が行われたと考えられています。川南の町人町と川北の武家地をはっきりと分けてもいます。

17 たいまん
鯛萬の井戸 地図グリッド E-3

ここ裏町は、商人町であると同時に職人町として物販、飲食、娯楽の中心として発展してきたところです。この井戸の場所にかつて割烹料亭「鯛萬」がありました。小公園として整備されています。

18 めとば
女鳥羽の泉 地図グリッド E-3

現在残る、市街地唯一の造り酒屋・善哉酒造の湧水です。この地域一帯は昔から地下水が豊富で、今も敷地内にある井戸水を使い日本酒を造っています。地下30mから自噴しています。

19 つきいずみじんじや
槻井泉神社の湧水 地図グリッド F-3

樹齢3百年と言われる榎をご神木に抱く槻井泉神社の湧水。古来から湧き出で、ここ「清水」の地名もこれに由来します。かつては染色や製紙産業も盛んで御用紙が漉かれ、この地のシンボルの泉です。

20 みょうしやうじ
妙勝寺の井戸 地図グリッド E-4

市重要文化財の旧念来寺の鐘楼が残る妙勝寺の井戸。鐘楼は宝永2年(1705)の建立で、大正時代まで松本城下に時を知らせる鐘が響いていましたが、太平洋戦争で残念ながら供出されてしまいました。

21 いおりれいすい
伊織霊水 地図グリッド E-4

貞享3年(1686)重税に反対した農民一揆「加助騒動」に関わった農民たちの助命救済に奔走した武士・鈴木伊織が眠る墓の入口に湧く井戸です。本立寺小路からの水路も整備されています。

22 やくそすい
日の出の泉薬祖水 地図グリッド F-4

薬業会館内の湧水です。渾々と湧出し、他の井戸が枯渇しても決して枯れなかったと伝えられています。薬祖神社の御遷座を機に神官より「日の出の泉薬祖水」と命名されました。

23 いおりれいすい
日の出の井戸 地図グリッド F-5

ここ清水の地は、松本最初の製糸工場が造られた場所です。行き交う人々で大変にぎやかな通りでした。現在、隣接地では大型ショッピングモールが建設中。モダンなスタイルの井戸です。

24 げんち
源地の水源地井戸 地図グリッド E-6

市美術館近くにあり、松本市水道局の水源地の一つで、江戸時代からずっと利用されています。街中の水源地が現役のところは珍しくなりました。松本の水がいかにかいきれいかが分かります。

定期的な水質検査を実施しています。一部を除き飲用可能ですが、手を加えていない生水ですので、胃腸の弱い方はご注意ください。